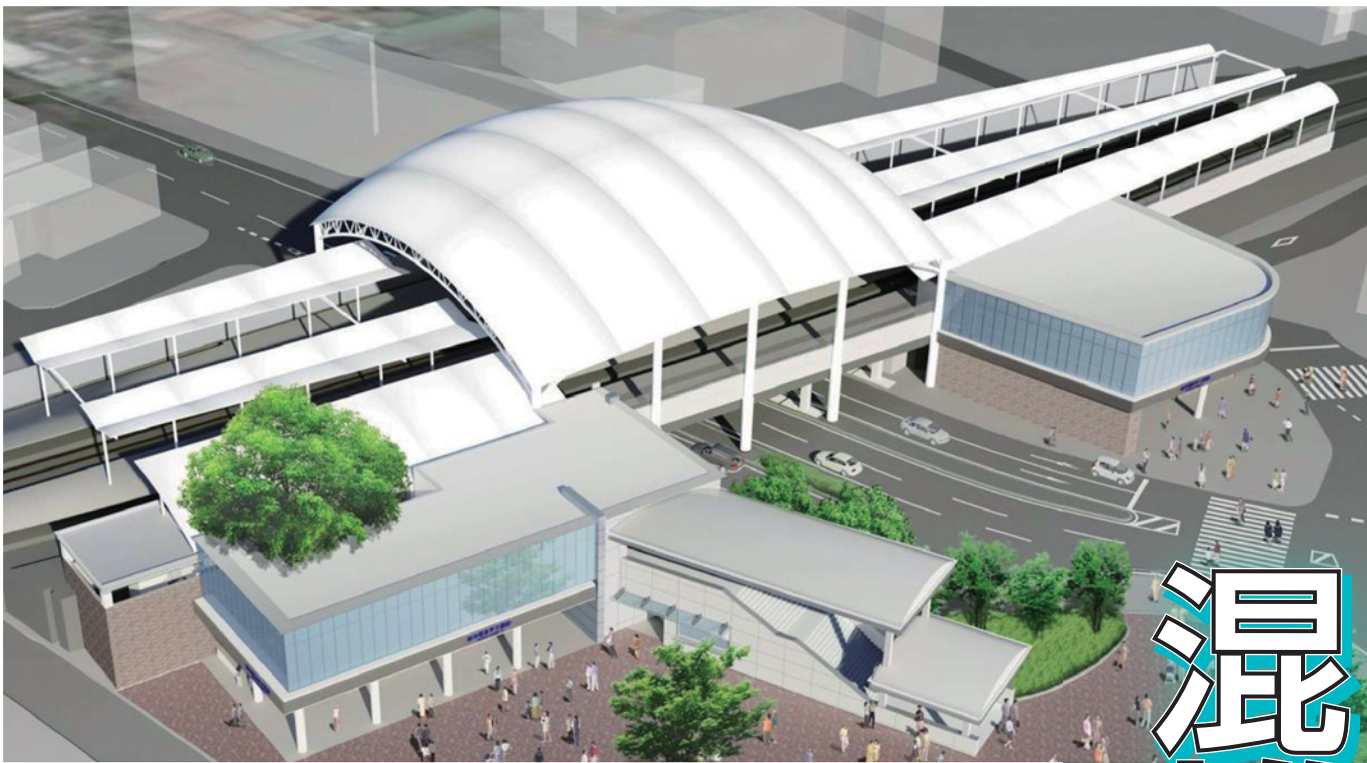


- ◇食中毒に注意.....2面
- ◇紹興ウィークを開催.....3面
- ◇国民健康保険特集.....4・5面
- ◇宮水学園祭を開催.....7面
- ◇大学交流祭を開催.....7面
- ◇食育フェスタを開催.....8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>  
 ●編集/総合企画局市長室広報課 ☎0798・35・3400 ✉vo\_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



甲子園駅の外観イメージ図。白球をイメージした大屋根が印象的

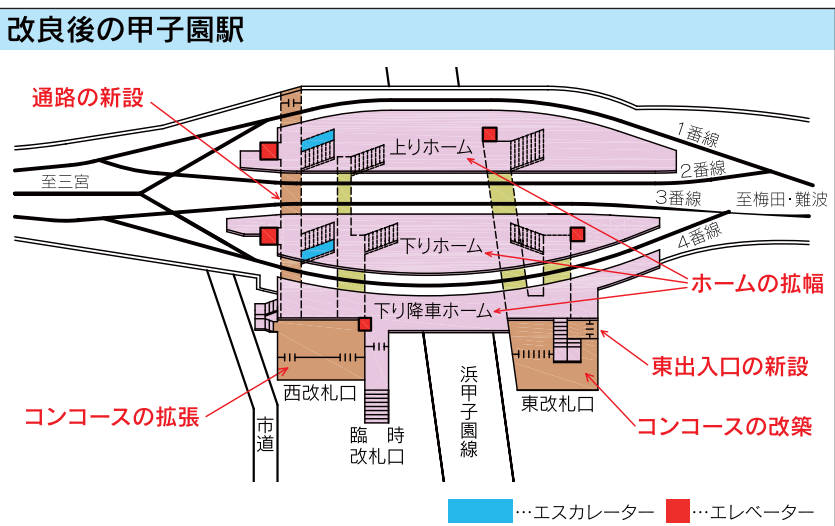


### 阪神甲子園駅リニューアル工事

# 快適・安全

# 混雑緩和

## — 完成予定は平成29年春 —



全国高校球児や野球ファンの憧れの地、阪神甲子園球場。その玄関口である甲子園駅の改良工事がスタートします。工事の施工は阪神電気鉄道が行い、平成29年春に完成予定です。市は、国・県とともに工事費用の一部を補助するなどの支援を行います。問合せは市街地整備課(0798・35・3623)へ。



たくさんの人が利用する甲子園駅

### ホームの拡幅やバリアフリー化

現在の甲子園駅の駅舎は1963年〜1965年に改修されたものです。甲子園駅は1日約5万人(プロ野球開催時は約10万人)が利用し、阪神電鉄では梅田、三宮に次ぐ主要駅です。しかし、「ホーム幅が狭い」「朝夕のラッシュ時や野球開催時は混雑する」「エレベーター

### 駅周辺はうるおいとにぎわいの空間へ

本市は、市内に23駅を有する鉄道網が整備されたまちです。鉄道の駅は、高齢者や障害者、妊娠中の人など誰もが快適に利用できるよう、より一層の利便性の向上が求められています。市は、平成21年にJR甲子園口駅にエレベーターを

### 市長からのメッセージ



河野昌弘市長

設置、22年に阪急今津線の高架化を完了させるなど、公共交通におけるバリアフリー化、安全・安心対策に

取り組んできました。今回の改良工事では、年間約400万人が訪れる阪神甲子園球場の玄関口「甲子園駅」が、誰もが安全で快適に利用できるように生まれ変わります。あわせて駅周辺を整備し、市民の皆さんをはじめ、他市から訪れた利用者にも喜ばれる、うるおいとにぎわいのある空間づくりに取り組みます。

### 工事の概要

ターがないため、体の不自由な人などが利用しにくいなどの課題があります。駅改良工事は、これらの課題を解消し、駅利用者の安全性と利便性を向上させるために行うものです。改良後の概略は左上図のとおりです。

#### ▽ホーム拡幅

現在4面あるホームのうち梅田方面行きの上り降車ホームを廃止して、残り3面のホーム幅を広げます。ホームの最大幅は、現在の5・6メートル9センチになります。

#### ▽バリアフリー化

エレベーターを各ホームに設置し、バリアフリー化を図ります(西側3基、東側2基)。また、乳幼児連れや体の不自由な人などが利用しやすい多

### 来年から工事本格化

今年度は建物解体などの準備工事に着手します。平成24年度からは工事を本格

機能トイレを東西の改札内に設置します。

#### ▽改札口の改良

東西の改札口については、駅舎を改築しコンコース(改札周りの空間)を広げます。また、西改札口からホームへの通路を1本から2本に増やして混雑緩和を図ります。東改札口には東方面への出入口を新たに設け、ホームへの通路を上り線用と下り線用に分けます。

#### ▽大屋根の設置

ホームの中央部には、白球や高校球児のユニフォームの白色をイメージした大屋根を設けます。大屋根には、自然光を通す膜素材を採用するほか、甲子園の「浜風」が吹き抜けるような、明るくて爽やかなデザインを取り入れます。

化し、西改札口駅舎の改築や橋脚の設置工事に取りかかります。26年度からは東改札口駅舎の改築や大屋根の設置工事などを行い、29年春にはリニューアル工事が完了する予定です。